



物価の伸びを下回る、

## 年金額改定！

厚生労働省は公的年金の2020年度の支給額を前年度比0.2%引き上げると発表しました。2年連続のプラス改定ですが、物価の伸びに比べると上昇幅は小さく、実質的価値は目減りしてしまいます。これは支給額の伸びを抑える仕組み「マクロ経済スライド」が原因です。年金財政を維持するためのものとされていますが、高齢者の家計を圧迫するものです。

年金額は毎年4月、経済の動向を踏まえて改定されます。今回は指標となる物価上昇率0.5%、賃金上昇率0.3%と、ともに上昇しています。算定基準となる賃金上昇率の0.3%からマクロ経済スライドで0.1%圧縮し、0.2%増に抑えられてしまいました。

2020年度の国民年金の支給額は、40年間保険料を納めた満額で、月額65,141円、厚生年金は平均的な給与で40年間働いた夫と専業主婦の世帯で、月額220,724円です。この額は6月に受け取る分からです。

### 【解説】「マクロ経済スライド」とは？

少子高齢化で年金財源を支える現役世代が減り、年金を受け取る高齢者が増える中で、年金制度を維持するため、年金額を自動的に抑制する制度。

マクロ経済スライドは物価と賃金がともに上がった場合のみ発動され、伸び率の低

い方を基準に計算する。今回は賃金上昇率を基準に算定。抑制率は今回0.1%と算出され、賃金上昇率から抑制率を引いた、0.2%が今回の年金の伸び率となる。

この抑制があるため、年金の額面が増えても、物価の上昇幅に追いつかず、お金として実質的な価値が目減りする。



台風による大規模停電、

## 無電柱化達成を！

昨年は台風15号により電柱や鉄塔が倒れるという被害があり、大規模停電が長期間復旧できませんでした。今、台風停電の防止策として電線を地中に埋める「無電柱化」に関心が高まっています。

台風15号の上陸では、千葉県を中心に約93万戸が停電しました。倒木や飛来した物で約2千本の電柱が損壊し、復旧に長期間を要しました。停電が最大5日間続いた千葉県睦沢町では、地中に電線を通した住宅地だけは6時間で復旧しました。

経済産業省の報告書でも「無電柱化の推進は重要」と指摘され、政府も普及に向けた

対策を本格化しています。

日本の無電柱化は先進国の中では遅れています。電柱の無い道路の割合を示す「無電柱化率」は、ロンドン、パリは100%であるのに、東京23区でも8%にとどまっています。東京都は小池知事が力を入れていて、首都高中央環状線の内側の地域では、歩道幅が2.5メートル以上の都道の97%を無電柱化しました。

しかし、無電柱化には大変なコストと時間を要することが問題となっています。

## 日本の男女平等

### 政治、経済分野で遅れ！

スイスの調査研究期間、世界経済フォーラム(WEF)は、「男女平等がどれだけ実現しているか」を、世界153カ国を対象に調べた2019年版の報告書を発表しました。

政治、経済、教育、健康の4分野の総合順位で、日本は121位(去年の110位から後退)。先進7カ国(G7)中、最下位でした。

日本は、教育と健康では格差がほぼ解消されたが、政治では、女性の首相が一度も誕生していない、議員・大臣の女性の比率が低い、経済でも管理職、経営者の女性が少ないなどと指摘されています。

	男女平等の主な国の順位
1位	アイスランド
2位	ノルウェー
3位	フィンランド
10位	ドイツ
16位	フィリピン
53位	アメリカ
106位	中国
108位	韓国
121位	日本
153位	イエメン

## 袖ヶ浦地域 どんど焼き

1月12日(日)、袖ヶ浦西近隣公園において、毎年恒例の「どんど焼き・火の輪くぐり」が行われました。たくさんの地域の方が参加し、盛況でした。どんど焼きが終わると、本当にお正月が終わったという感じがしますね。



### 【どんど焼きの由来】

主に小正月の1月15日に、お正月飾りや書初めなどを持ち寄って、燃やす行事。神社で行われたり、地域の行事として行われています。

どんど焼きは、門松やしめ飾りなどで出迎えた歳神様を、お正月飾りを焼くことによって、炎とともに見送る意味があるとされています。「火祭り」の一種ですね。